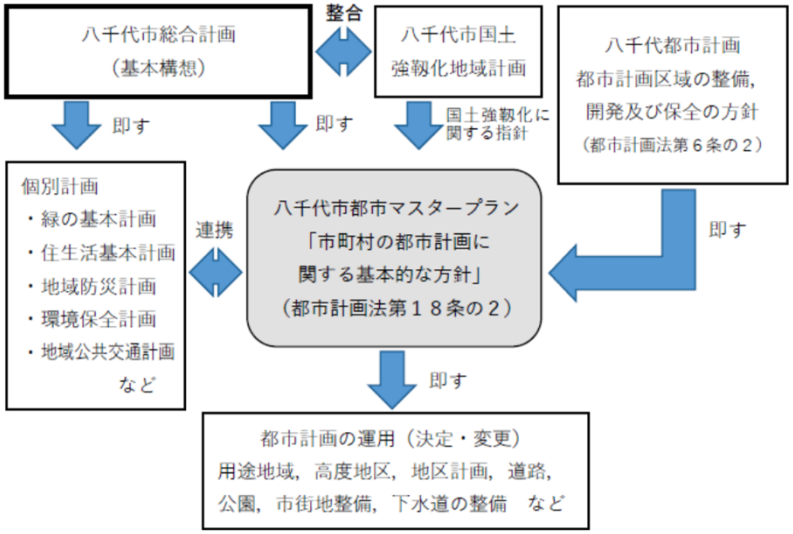
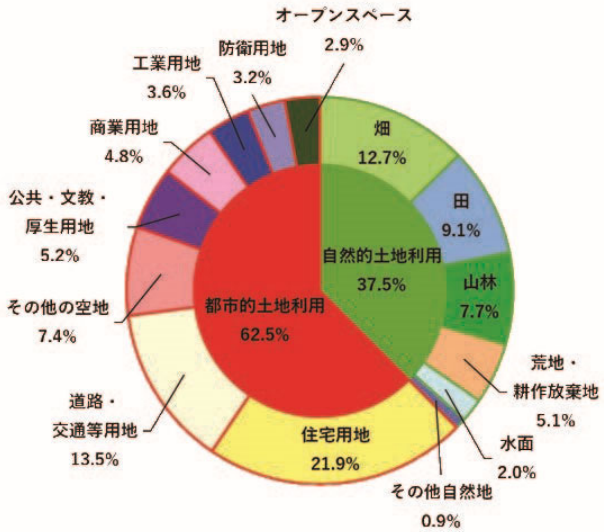
やちエネ第6回みんなで考える会
ゼロカーボンシティ市民会議～ワークショップ

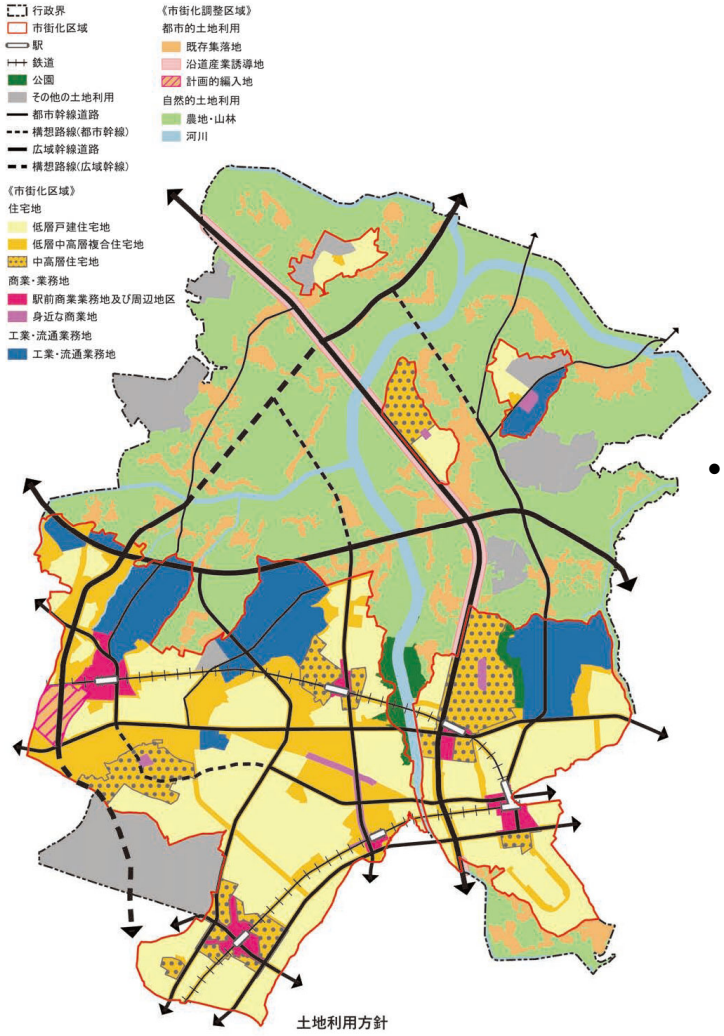
参考資料：八千代市の都市マスタープランと地球温暖化対策実行計画

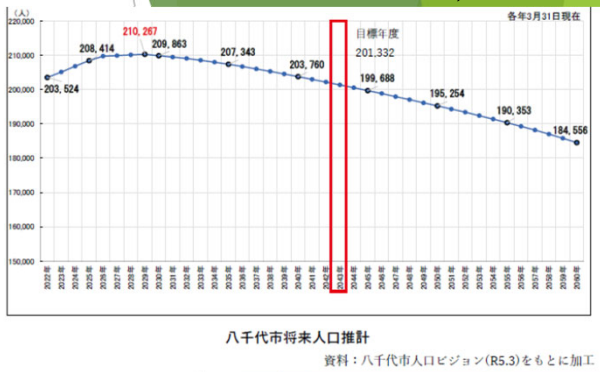
2023年9月23日
やちよ自然エネルギー市民協議会(やちエネ)

八千代市都市マスタープラン(2023年7月策定)









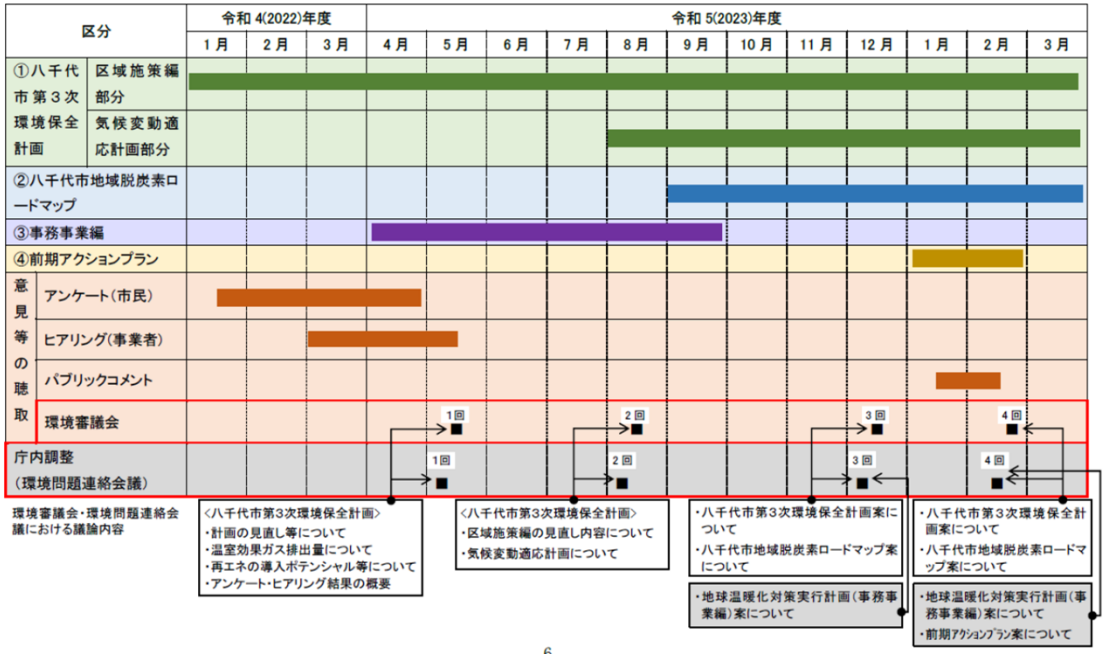
- 脱炭素社会を目指した都市づくりの方針：
  - 地球温暖化防止対策の総合的推進:ゼロカーボンシティ
  - 再生可能エネルギー等の活用：太陽光・太陽熱、バイオマス、水素、自立分散エネルギー供給システム
  - 脱炭素型建築物の普及促進：省エネ、ZEH・ZEBの普及
  - 環境にやさしいまち・交通への転換：歩きやすい道路、EV

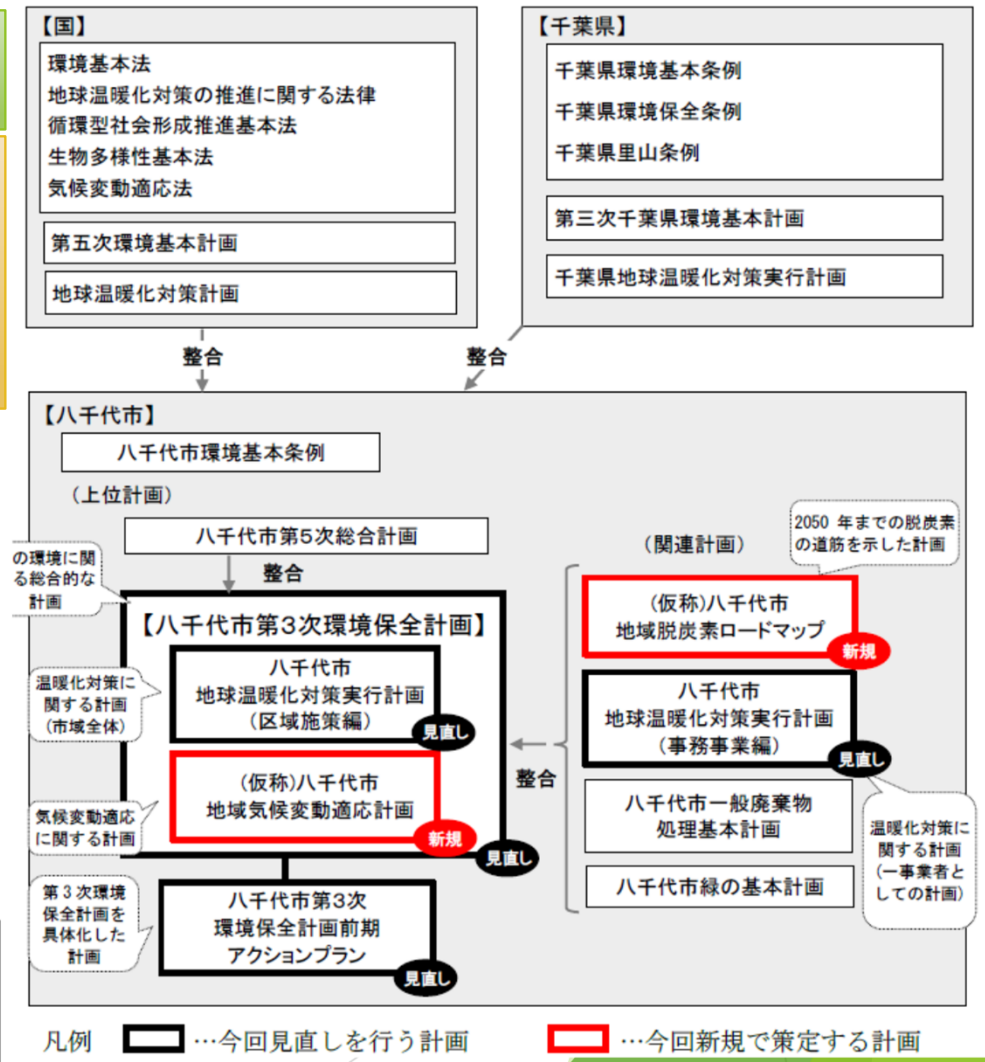
出所: 八千代市都市マスタープラン(2023年7月)

八千代市の地球温暖化対策実行計画等の見直し

国・千葉県の脱炭素社会の実現に向けた動きや気候変動への対応、2050年CO2排出量実質ゼロ実現の計画策定：

- 「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」見直し
- 「地域気候変動適応計画(仮称) 」新規
- 「環境保全計画前期アクションプラン」見直し
- 「地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」見直し
- 「地域脱炭素ロードマップ(仮称)」新規





出所: 八千代市環境審議会資料(2023年5月)

八千代市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)見直し案

- 2030年度における八千代市のCO2排出量について2013年度比40%削減を目指す

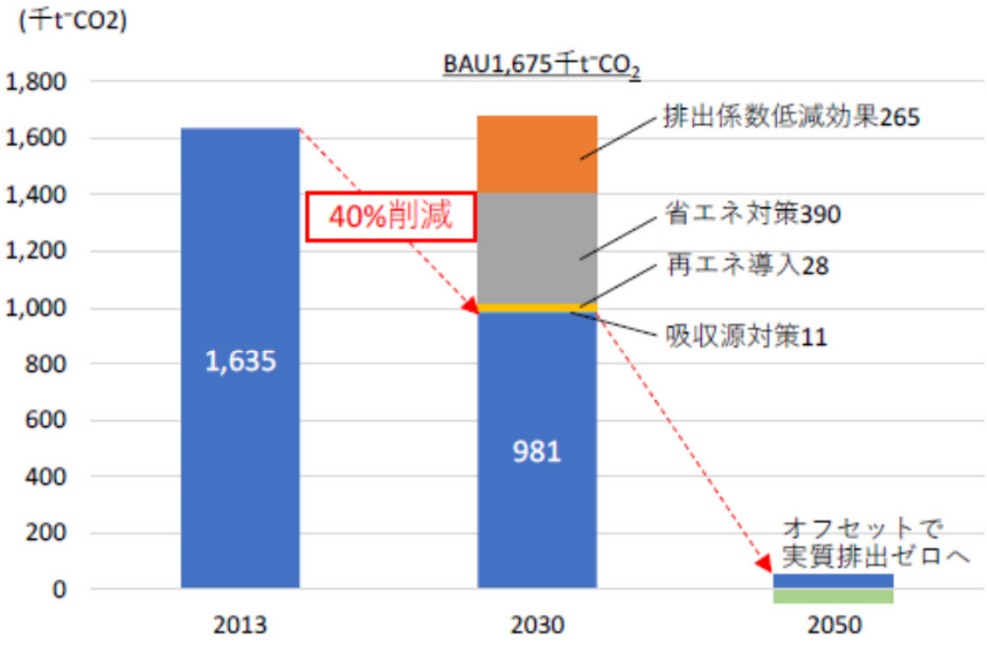


図　市域からの温室効果ガス排出量削減目標

表２　基準年度からの削減量の比較(当初、見直し後)

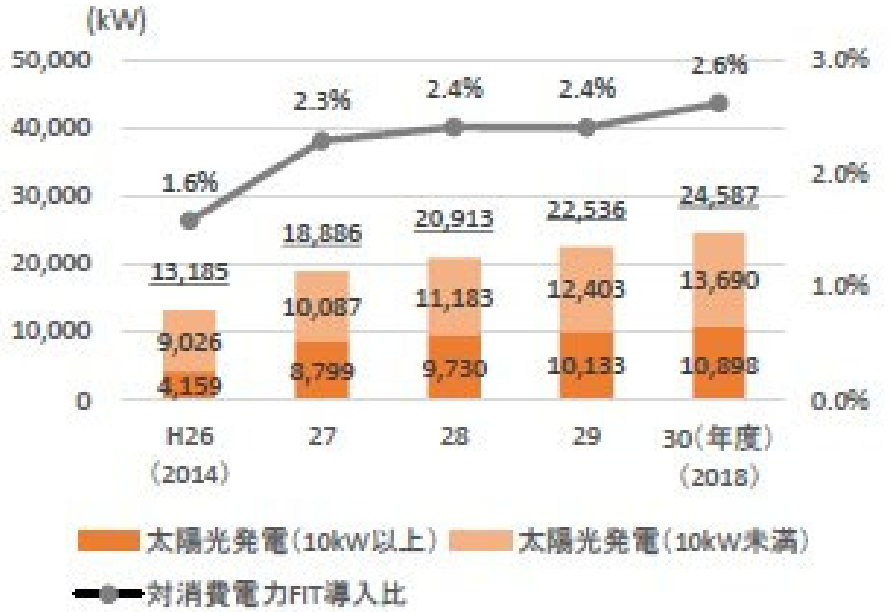
単位：千t-CO2

区分	当初 ①	見直し後 ②
排出係数低減効果	265	265
省エネ対策	230	390
産業部門	50	85
業務その他部門	90	153
家庭部門	47	80
運輸部門	43	73
廃棄物分野	0	0
再エネ導入	17	28
吸収源対策	11	11
計	523	694
①-②	－	-171

※本表の数値は、対策によって削減が見込まれる CO2 の排出量。
(表１の BAU から対策後排出量を差し引いた数値)

出所: 八千代市環境審議会資料(2023年8月)

八千代市内の再生可能エネルギー導入



出所: 八千代市第3次環境保全計画(2021年3月)

2022年度末：
34,055kW
(40,579MWh/年)※推計(電力需要量の約4%)

住宅用：20,371kW(約5100軒)
事業用：13,684kW

電力需要量：995,345MWh/年
再エネ導入ポテンシャル(電力)：917,261MWh/年

資料 環境省(自治体)

表 3-3 再生可能エネルギー種別導入ポテンシャルと既存導入量

再生可能エネルギーの種類			導入ポテンシャル		既存導入量（令和4年9月時点）		導入率
太陽光		電気	678	MW	33	MW	4.9%
	官公庁 等	電気	171	MW		MW	
	工場・倉庫	電気	36	MW		MW	
	戸建住宅等	電気	247	MW		MW	
	耕地・荒廃農地等	電気	224	MW		MW	
風力		電気	-	MW	0	MW	-
中小水力		電気	-	MW	0	MW	-
バイオマス		電気	-	MW	0	MW	-
地熱		電気	-	MW	0	MW	-
合計		電気	678	MW	33	MW	4.9%
太陽熱		熱	507,960	GJ/年	0	GJ/年	-
地中熱		熱	4,854,651	GJ/年	0	GJ/年	-
合計		熱	5,362,611	GJ/年	0	GJ/年	-

導入ポテンシャル：自治体再エネ情報カルテ（REPOS）
既存導入量：再生可能エネルギー電子申請サイト （https://www.fit-portal.go.jp/）

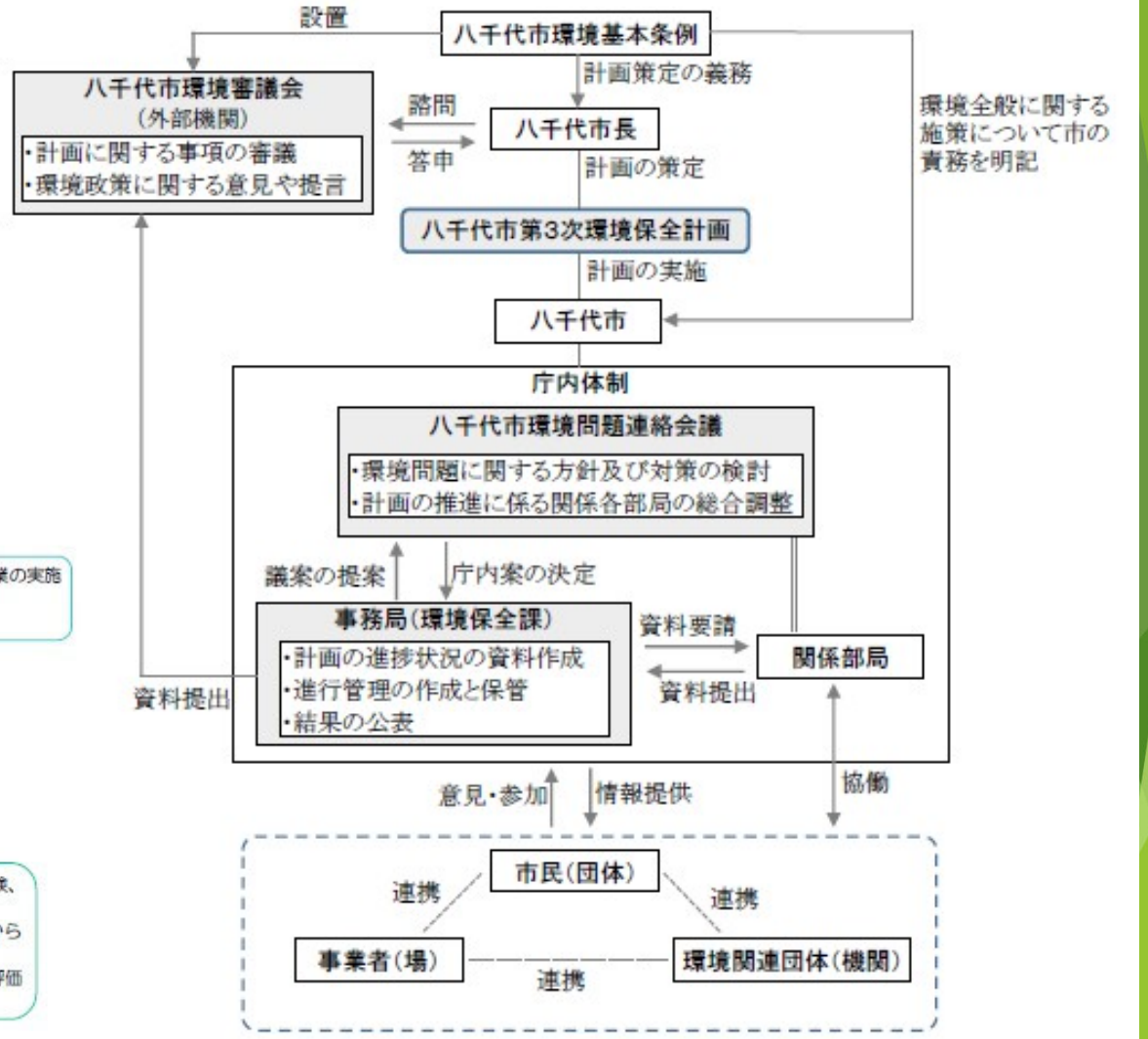
表 5 再生可能エネルギー導入量及びそれによる CO2 削減量

項目	数値	単位	備考
導入量	55,234	kW	国導入目標(2019年比2.1倍)を基に算出
年間発電電力量	66,287,668	kWh	
排出係数	0.00025	t-CO2/kWh	
CO2削減量	16,572	t-CO2	

出所: 八千代市環境審議会資料

目標案(2030年度2013年度比):
再エネによるCO2削減量：28千トン-CO2 → 太陽光導入量：93,000kW(住宅23,000軒分)

八千代市第3次環境保全計画：推進体制：



進行管理

出所: 八千代市第3次環境保全計画(2021年3月)